

ゼネコンらが 活用事例紹介

MCデータプラス ユーザーイベント

建設業向け現場施工管理サービス「建設サイト・シリーズ」を展開するMCデータプラス（東京都渋谷区、瀧田晃一社長）は14日、ユーザー向けのオンラインイベントを開いた。奥村組や東急建設、前田建設、清水建設らが登壇。ペーパーレス化や労務管理の効率化、施工管理プロセスのデジタル化といった同サービスの

瀧田社長によるあいさつ（MCデータプラス提供）



活用状況や今後の展開方針などを紹介した。1194人が参加した。

冒頭、瀧田社長は「確か

なデータで未来をつなぐことをモットーに取り組んでいる。安全・安心はもちろんのこと、業務の生産性向上にも積極的に寄与したい」と述べた。その上で「DXやITには閉じない付加価値のサービスとして、金融や調達周りのサービスも企画している」と今後の方向性を示した。

建設サイト・シリーズは、労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」を中心に、作業間連絡調整サービス「ワークサイト」や独自資格保有者管理サービス

「スキルマップサイト」など展開している。建設キャリアアップシステム（CCUS）とも連携しており、利用者が増加している。

同社担当者は最新の開発状況も説明。現場の編成情報や作業員名簿、入退場情報などのデータを、元請との間でアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）連携するサービスを準備しているとした。ユーザー企業による独自の分析・活用やDX戦略の推進に貢献していく。

